



作成日 2010/04/28
改訂日 2018/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ハイユーローズ (GHS)
 製品コード CE-F01-1076
 供給者の会社名称 宇部興産建材株式会社
 住所 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
 電話番号 03-5419-6206
 FAX番号 03-5419-6265

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分外
 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
 化学名又は一般名

単一製品
 ヒドロキシエチルメチルセルロース

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ヒドロキシエチルメチルセルロース	92%以上	不明	8-187	—	9032-42-2
グリオキサール	1%未満	OHCHO	(2)-510	公表	107-22-2

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。

刺激が続くようであれば、医師の診療を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消化薬剤、水溶性液体用泡消化剤、二酸化炭素、砂、霧状水

特有の危険有害性

燃焼ガスには、二酸化炭素、一酸化炭素等のガスが含まれるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意する。

特有の消火方法

火元の燃焼源を断つ。

消火を行う者の保護

風上より、消火剤を使用して消火する。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する

6. 漏出時の措置	人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
	環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
	封じ込め及び浄化の方法 及び機材 二次災害の防止策	箒や掃除機等で全量回収する。
		付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い	技術的対策	眼、皮膚に触れないように保護眼鏡、保護手袋を着用する。 粉塵を吸入しないように、防塵マスク等適切な保護具を着用する。
	安全取扱注意事項	目や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分気を付けること。 内容物を故意に吸い込まないこと。 換気の良い場所で取り扱うこと。 眼、皮膚との接触を避けること。 取扱い後は、うがい、洗眼、手洗いを励行する。 粉じんの拡散を防ぐこと。
	衛生対策	「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を遵守し、取扱い後は、必ず手や顔を洗い、うがいをすること。 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。 換気の良い場所で保管すること。
保管	安全な保管条件	情報なし
	安全な容器包装材	
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
	保護具	防塵マスク、簡易防塵マスク。 保護手袋 保護眼鏡 保護服、保護長靴等
	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	
9. 物理的及び化学的性質 外観	物理的状態 形状 色	固体 固体(粉末) 白色 無臭 データなし データなし データなし データなし
	臭い 臭いのしきい(閾)値	
	pH 融点・凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲	
	引火点 蒸発速度 燃焼性(固体、気体) 燃焼又は爆発範囲	データなし データなし 爆発性無し データなし データなし
	蒸気圧 蒸気密度	データなし データなし
	下限 上限	

比重(密度)		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配		データなし
係数		
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		通常の取り扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性		データなし
避けるべき条件		水、湿気。
危険有害な分解生成物		なし
その他		一般の可燃物質同様、特殊条件下において粉じん爆発性の可能性がある。
11. 有害性情報		情報なし
12. 環境影響情報		情報なし
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 下水、河川等へ流入することがないように厳重に注意する。
汚染容器及び包装		容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code	該当しない Not applicable Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質	該当しない 該当しない 該当しない 非該当 非該当
特別の安全対策	航空規制情報	該当しない 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

包装容器を破損させないように注意し、直射日光や雨水に当たらない様に被覆シートをかけて輸送する。

梱包袋が破れない様に、水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。

また、荷崩れしない様に取り扱うこと。

その他、『7. 取扱い及び保管上の注意』の項の記載による。

15. 適用法令

化審法
大気汚染防止法

優先評価化学物質(法第2条第5項)

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質
(中央環境審議会第9次答申)

16. その他の情報

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。